

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：I 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標：1 青少年の豊かな人間性をはぐくむ家庭づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
① 基本的 生活習慣 の形成等 家庭教育 のための 情報と機 会の提供	1	青少年健全育成促進費 (青少年育成推進事業費補助金)	(公財)北海道青少年育成協会が行う青少年健全育成の道民運動を促進するための経費に対し助成する。	本掲参照(53)	再掲	35,428 (35,428)	35,073 (35,073)	環境生活部	道民生活課	
	2	人権啓発推進事業費 (地域人権啓発活動活性化事業)	基本的人権の尊重とその擁護について、正しい理解と人権思想の普及啓発を図るため、全道域での啓発事業と市町村での地域事業に取り組む。	H30 ○青少年の人権尊重啓発事業 ・インターネット適正利用普及啓発講演会の開催 ・インターネット、携帯電話の適正利用に関する有害情報対策啓発リーフレット等の作成 R1 ○青少年の人権尊重啓発事業 ・インターネット適正利用普及啓発講演会の開催 ・インターネット、携帯電話の適正利用に関する有害情報対策啓発リーフレット等の作成(小学6年生配付用、一般用)		724 (0)	628 (0)	環境生活部	道民生活課	
	3	少子化対策推進事業費 (北海道子ども未来づくり推進費)	総合的かつ計画的に少子化対策を推進するため、第三期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」の円滑な推進を図るための体制整備と、将来家庭や子どもを持つことが身近なこととなる大学生に対し、少子化問題への意識の醸成を図るための講義を実施する。	H30 ○少子化対策圏域協議会の運営事業(地域における国、道の出先機関と市町村で構成) ・各圏域協議会単位での検討協議 14圏域で運営 ・全道連絡会議の開催 1回開催 R1 ○少子化対策圏域協議会の運営事業(地域における国、道の出先機関と市町村で構成) ・各圏域協議会単位での検討協議 14圏域で運営 ・全道連絡会議の開催 1回開催		788 (788)	786 (786)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	4	地域子ども・子育て支援事業 (病児保育事業) (延長保育事業)	病児保育や延長保育を実施することで、安心して子育てができる環境を整備する。	本掲参照(82)	再掲	319,872 (319,872)	360,668 (360,668)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	5	地域子ども・子育て支援事業 (放課後児童健全育成事業)	放課後や週末等に児童が安心して生活できる居場所を確保することにより、児童の健全な育成を支援する。	本掲参照(72)	再掲	2,595,575 (2,595,575)	2,801,789 (2,801,789)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	6	家庭教育支援活動事業費 (地域人材による家庭教育支援推進事業)	家庭教育に関する保護者同士の相互学習が促進される仕組みづくりのため、家庭教育ナビゲーターを養成し、学びカフェを実施する。 地域人材の力を活かしながら、家庭教育支援者のネットワーク化を推進する。	H30 ・家庭教育支援者(家庭教育ナビゲーター等)のネットワーク化による家庭教育支援の充実 ・市町村において、家庭教育ナビゲーター養成(310人)及び資質向上研修会、学びカフェの実施 R1 ・家庭教育支援者(家庭教育ナビゲーター等)のネットワーク化による家庭教育支援の充実 ・市町村において、家庭教育ナビゲーター養成及び資質向上研修会、学びカフェの実施		8,769 (4,826)	7,855 (4,293)	教育庁	生涯学習課	
	7	子ども・地域生活習慣向上プロジェクト事業	学力・体力と相関関係にある基本的な生活習慣の定着を図る。	H30 ・子どもたちの「望ましい生活習慣」定着のための取組を企画・運営する地域人材の育成を目的とした地域指導者研修会の実施(56市町村) ・上記研修会を受講した地域指導者による「子ども・地域サポート事業」の実施(56市町村) ・「子ども・地域サポート事業」取組事例発表など成果普及のための全道フォーラムの実施(札幌市で開催) R1 ・子どもたちの「望ましい生活習慣」定着のための取組を企画・運営する地域人材の育成を目的とした地域指導者研修会の実施 ・上記研修会を受講した地域指導者による「子ども・地域サポート事業」の実施 ・「子ども・地域サポート事業」取組事例発表など成果普及のための全道フォーラムの実施		8,500 (5,962)	6,920 (4,920)	教育庁	生涯学習課	

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針: I 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標: 1 青少年の豊かな人間性をはぐくむ家庭づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
② 保護者の役割、 父親の積極参画等の啓発	8	青少年健全育成促進費 (青少年育成推進事業費補助金)	(公財)北海道青少年育成協会が行う青少年健全育成の道民運動を促進するための経費に対し助成する。	本掲参照(53)	再掲	35,428 (35,428)	35,073 (35,073)	環境生活部	道民生活課	
	9	男女平等参画社会づくり推進費 (男女平等参画社会づくり推進事業費)	男女平等参画社会形成の推進のため、情報誌の発行など広報啓発活動を行うとともに、先駆的な活動を行っている個人・団体等を顕彰する。	H30 ・情報誌 年3回発行 ・北海道男女平等参画チャレンジ賞の表彰 R1 ・情報誌 年3回発行 ・北海道男女平等参画チャレンジ賞の表彰		53 (53)	53 (53)	環境生活部	道民生活課	情報誌は予算計上していない
	10	ゆとり推進費(誰もが働きやすい職場環境づくり事業)	男女が共に「仕事と家庭の両立が可能な職場環境」、「能力を発揮できる職場環境」の整備を図るため、労使や一般住民に対する育児・介護休業法等の法や制度の普及啓発を行う。	H30 ・北海道あつたかファミリー応援企業登録制度(487企業) ・北海道なでしこ応援企業認定制度(228企業) ・北海道なでしこ応援企業の表彰(4社) ・北海道なでしこ応援企業表彰式の開催(1回) ・啓発用ハンドブックの作成(1,300部) R1 ・北海道働き方改革推進企業認定制度 ・北海道働き方改革推進企業の表彰及び表彰式の開催 ・啓発用ハンドブックの作成・配付		495 (495)	495 (495)	経済部	雇用労政課	
	11	北海道家庭教育サポート企業等制度	家庭教育を支援するための職場環境づくりに取り組む企業等が道教委教育長と協定を結び、相互に連携し、家庭教育の一層の推進を図る。	H30 ・協定締結企業数 2,424社 ・生活リズム向上の取組 ・「家庭教育サポート企業だより」の発行(年6回) R1 ・協定締結企業数 2,425社(令和元年6月末) ・生活リズム向上の取組 ・「家庭教育サポート企業だより」の発行(年6回)		0 (0)	0 (0)	教育庁	生涯学習課	
	12	ほっかいどう働き方改革支援センター運営等事業費 (働き方改革支援センター運営事業)	企業の就業環境の改善などに係る包括的な支援をワンストップで行う拠点として「ほっかいどう働き方改革支援センター」を設置・運営し、企業の就業環境の整備に係る相談に対応するとともに、業界団体と連携して業種別の処遇改善策や改革プランを作成するなど、働き方改革の取組を推進する。	H30 ・企業に対するワンストップ相談機能の整備 ～来所・電話・電子メールなどによる相談対応、アドバイザー派遣等を実施。 (企業からの相談件数 187件(うち、アドバイザー派遣 40件) 出張相談会の開催 63回) ・「運輸業(乗合バス・貸切バス)」における改善策の策定 ・「食料品製造業」における働き方改革の取組のポイントや方向性を整理した改革プランの作成及び普及啓発セミナーの開催 2回(参加者22名) ・労働セミナーの開催 4回(参加者112名) ・企業等への働き方改革推進支援 R1 事業終了		37,727 (18,864)	— —	経済部	雇用労政課	H30事業終了
13	就業環境改善支援事業費	中小企業等の就業環境改善を促進するため、働き方改革に取り組む企業の認定や地域企業へのハンズオン支援、優良事例の普及に取り組む。	H30 ・働き方改革に積極的に取り組む企業等の認定(ホワイト認定483企業、ブロンズ認定 2企業、シルバー認定 1企業、ゴールド認定 1企業) ・振興局職員を対象としたスキルアップ研修の実施 ・優良事例集の作成(3,400部) ・経営者向けフォーラムの開催(1回) R1 ・ハンズオン支援 働き方改革支援員及び振興局職員によるハンズオン支援 ・優良事例の普及 優良事例集の作成 フォーラムの開催		11,632 (5,816)	12,302 (6,151)	経済部	雇用労政課		

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：Ⅰ 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標：1 青少年の豊かな人間性をはぐくむ家庭づくりの促進

主な 取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)		再掲	H30予算額	R1予算額	所管部局	課	備考
				(一般財源)	(一般財源)						
③ 家庭教育に関する相談体制の整備・充実	14	母子保健対策事業費(女性と子どもの健康支援対策事業費) 女性の健康サポートセンター事業費	学校や市町村など思春期の青少年との関わりを持つ地域関係者の連携を図り、相談体制の強化と思春期の子どもの自己決定能力の育成を図る健康教育を推進する。また、疾病により長期にわたり療養を必要とする児童に対して相談・指導を行う。	H30 ・思春期保健ネットワーク推進事業 13保健所 ・長期療養児療育指導事業 6保健所	R1 ・思春期保健ネットワーク推進事業 14保健所 ・長期療養児療育指導事業 11保健所		2,476	1,917	保健福祉部	子ども子育て支援課	
						(1,282)	(982)				
	15	家庭児童相談室設置運営事業費	各総合振興局(振興局)に家庭相談員を配置し、家庭における児童の諸問題についての相談を受け付ける。	本掲参照(80)		再掲	19,798	19,778	保健福祉部	子ども子育て支援課	
						(19,798)	(19,778)				
16	児童相談所及び一時保護所費	道立児童相談所及び一時保護所の維持運営費	本掲参照(296)		再掲	410,261	444,022	保健福祉部	子ども子育て支援課		
					(254,662)	(266,535)					
17	家庭教育相談事業費	家庭教育に関する不安や悩みを抱く親などに対し、臨床心理士による専門性の高い面接相談を実施する。	H30 実施日：週4回(火-金) 家庭教育相談 466件	R1 実施日：週4回(火-金) 家庭教育相談		2,722	2,722	教育庁	生涯学習課		
					(2,722)	(2,722)					

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：I 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標：1 青少年の豊かな人間性をはぐくむ家庭づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
④ 食育等の普及	18	どさんこ食育推進総合事業	児童生徒に望ましい食習慣や自己管理能力を身につけさせるための指導を行う栄養教諭を配置し、食に関する指導を行う。また、学校における食育を推進するため、栄養教諭が中心になって、学校、家庭、地域の団体と連携・協力しながら実践的な取組を推進する。	H30 ・栄養教諭が中心となり、学校を核として地域の生産者や関係機関等とも連携しつつ、学校においてより実践的な食育を行うとともに、その活動に保護者も参画し、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを構築する事業を実施 ・学校給食の活用を通して、食品ロスの削減、地産地消の推進、伝統的食文化の継承などの社会的な課題解決等に資する事業を実施 事業実施校：なし		12,281	12,537	教育庁	健康・体育課	
				R1 ・栄養教諭を中核として地域の生産者や関係機関・団体等と連携し、学校において実践的な食育を推進するとともに、その活動に保護者も参画し、家庭における望ましい食生活の継続的な実践にもつながる食育の実践モデルを構築する事業を実施 ・学校給食の活用を通して、食品ロスの削減、地産地消の推進、伝統的食文化の継承、会計事務に係る学校現場の負担軽減などの社会的な課題解決等に資する事業を実施 事業実施予定校：2校		(0)	(0)			
	19	新北海道らしい食育推進事業 どさんこ食育推進事業(R1～名称変更)	どさんこ食育推進プラン(北海道食育推進計画(第3次))の効果的な推進に向け、道が取り組む食育に関して助言する検討会を設置するとともに、優れた食育の担い手の表彰や食育推進ネットワーク会議の開催などを通じ、地域の食育の取組みに対する支援を行う。	H30 食育推進ネットワークの開催：12回 どさんこ食育推進協議会の開催：1回 北海道食育推進優良活動表彰：1回 食育推進検討委員会の開催：1回		34,031	34,029	農政部	食品政策課	
				R1 食育推進ネットワークの開催：14回 どさんこ食育推進協議会の開催：1回 北海道食育推進優良活動表彰：1回 食育推進検討委員会の開催：1回		(2,524)	(2,674)			
20	もっと知って→もっと食べよう！ 北海道のさかなたち (非予算事業)	水産業及び漁村に対する道民の理解を促進するため、小中学生等を対象とした出前授業を開催する。	H30 小中学校等からの要請に基づき実施：85回		0	0	水産林務部	総務課		
			R1 小中学校等からの要請に基づき実施予定		(0)	(0)				
21	道産水産物魚食普及推進事業費	魚食文化の維持、発展に向けて、学校等給食への導入や多様な魚食形態の創出を図ることにより、減少を続ける魚介類の消費を回復させる。	H30 魚食習慣の普及や定着を図るため学校給食関係者等にPRや学校給食等へ道産水産物の導入を促進する取り組みに対し支援する。 ・学校給食向けの製品開発など魚食普及の取組に対し支援 [補助件数 5件]		2,311	2,311	水産林務部	水産経営課		
			R1 魚食習慣の普及や定着を図るため学校給食関係者等にPRや学校給食等へ道産水産物の導入を促進する取り組みに対し支援する。 ・学校給食向けの製品開発など魚食普及の取組に対し支援		(2,311)	(2,311)				
22	見よう！知ろう！食べよう！こどもおさかな教室 (赤レンガチャレンジ事業)	将来の魚食文化を支えていく子どもたちを対象として、北海道の漁業について学んでもらい、日頃食べている魚の漁法や魚の食べ方など、自らの目で見て、調理して食べてもらう取組を消費者団体や生産者団体と連携し実施。	H30 小学生児童を対象に、魚の流通についての座学、市場、量販店の見学や魚の調理方法などの教室を開催。 [実施回数 3回]		0	0	水産林務部	水産経営課		
			R1 小学生児童を対象に、魚の流通についての座学、市場、量販店の見学、地引き網体験や魚の調理方法などの教室を開催。		(0)	(0)				

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：I 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標：2 心身の健やかな成長と生きる力をはぐくむ教育の推進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑤ 社会で 生きる 実践的 な力の 育成	23	返還要求運動費 (北方領土問題啓発事業)	北方領土問題の早期解決に向けた外交交渉を後押しするため、8月の「返還要求運動強調月間」、2月7日の「北方領土の日」を中心に年間を通して、道内各地で領土問題を啓発し、国民世論の結集を図る。また、将来的に啓発活動を担っていく若い世代をターゲットに、今後の返還要求運動の後継者の育成などを行う。	H30 ・『『北方領土の日』ポスターコンテスト』(応募総数:666点)、「中学生作文コンテスト」(応募総数:160点)「合唱コンサート」(参加校:10校)を実施 ・北方領土返還要求キャラバン事業を実施(実施箇所数:5箇所) ・後継者育成ステップアップ事業を実施(実施回数:19回)		17,799	16,183	総務部	北方領土対策課	
				R1 ・『『北方領土の日』ポスターコンテスト』、「中学生作文コンテスト」、「合唱コンサート」を実施 ・北方領土返還要求キャラバン事業を実施 ・【廃止事業】後継者育成ステップアップ事業 ・【新規事業】北方領土体験学習事業を実施 ・【新規事業】北方領土サポーター活躍推進事業を実施		(17,799)	(16,183)			
	24	援護対策推進費(千島歯舞諸島居住者連盟補助金)	北方領土返還要求運動の推進及び援護対策を行うため、連盟が行う署名活動、後継者育成、千島会館の管理などに助成する。	H30 ・支部活動や後継者組織活動を通して、元居住者等の援護対策の推進(全道15支部で活動推進) ・返還要求運動の中心的役割を担う後継者の育成(北方領土問題現地青年の集い開催。参加者:52名) ・北方領土問題への理解を図るための署名活動や各支部における地域活動(平成30年度署名数:918,930人) ・返還要求運動推進のための国会への署名請願(署名請願数:約3,000,000名分)		31,941	29,999	総務部	北方領土対策課	
				R1 ・支部活動や後継者組織活動を通して、元居住者等の援護対策の推進 ・返還要求運動の中心的役割を担う後継者の育成 ・北方領土問題への理解を図るための署名活動や各支部における地域活動 ・返還要求運動推進のための国会への署名請願		(31,941)	(29,999)			
25	アイヌ民族文化財団事業費補助金	アイヌ文化の振興や理解の促進などに関する事業を行う(公財)アイヌ民族文化財団(旧:アイヌ文化振興・研究推進機構)の事業に要する経費に対し、助成する。	H30 ・小中学生向け副読本の作成・配付 ・幼児向け絵本等の作成・配付 ・アイヌ文化活動アドバイザー派遣 ・青少年による海外の先住民族との交流及び研修		323,669	303,109	環境生活部	アイヌ政策課		
			R1 ・小中学生向け副読本の作成・配付 ・幼児向け絵本等の作成・配付 ・アイヌ文化活動アドバイザー派遣 ・青少年による海外の先住民族との交流及び研修		(323,669)	(303,109)				
26	環境保全対策推進費 (北海道環境保全基金事業)	環境保全基金を活用し、地域における環境保全などの各種普及啓発(地域環境学習事業)などを推進する。	H30 ・地域環境学習普及事業【28事業】 各総合振興局(振興局)が主体となり、地域において市町村・環境保全活動団体等と連携して環境学習会等を開催する。(環境パネル展、出前教室、リサイクル作品コンクール、自然教室、環境学習ツアー等) ・地域環境学習講座(eco-アカデミア)【10回派遣、546名参加】 道の環境保全施策に沿った環境学習講座を設置し、道と住民団体等が連携して実施する。各地域の住民団体等が主体的に開催するものとし、道は内容調整のコーディネーターやトレーナー(講師)の派遣費用の負担により支援 ・環境保全活動功労者表彰【1名4団体】 知事感謝状の贈呈		3,000		環境生活部	環境政策課		
			R1 ・地域環境学習普及事業 各総合振興局(振興局)が主体となり、地域において市町村・環境保全活動団体等と連携して環境学習会等を開催する。(環境パネル展、出前教室、リサイクル作品コンクール、自然教室、環境学習ツアー等) ・地域環境学習講座(eco-アカデミア) 道の環境保全施策に沿った環境学習講座を設置し、道と住民団体等が連携して実施する。各地域の住民団体等が主体的に開催するものとし、道は内容調整のコーディネーターやトレーナー(講師)の派遣費用の負担により支援 ・環境保全活動功労者表彰 知事感謝状の贈呈		(3,000)					

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：Ⅰ 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標：2 心身の健やかな成長と生きる力をはぐむ教育の推進										
主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑤ 社会で 生きる 実践的 な力の 育成	27	語学指導等外国青年招致事業費	国際化に対応する人材育成を図るため、高等学校等における英語教育の充実、国際交流の進展を図ることを通じて、国際理解教育を促進する。	本掲参照(194)	再掲	296,039 (294,517)	283,402 (282,318)	教育庁	高校教育課	
	28	未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業費	新学習指導要領の実施に向け、生徒が未来社会を切り拓くための資質・能力を育成するため、生徒に求められる資質・能力とは何かを社会と共有し連携する「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。	H30 ・生徒の学習内容の定着状況を把握するための学力テストの作成・実施(学力テスト参加校：公立高校全日制・定時制のべ227校) ・生徒の能力・進路等に応じて設定した3つのモデルごとの教科別教材の開発・活用(作成した教材をウェブページで公開) ・ハイレベル学習セミナー(高校1年生101名参加)、授業実践講座(教員525名参加)の開催		6,870	6,610	教育庁	高校教育課	
				R1 ・生徒の学習内容の定着状況を把握するための学力テストの作成・実施 ・総合的な探究の時間推進プロジェクトの実施 ・授業改善セミナー(教員対象)の開催 ・探究活動キャンプ(生徒対象)、アドバンス学習キャンプ(生徒対象)の開催		(6,870)	(6,610)			
	29	北海道グローバル人材育成キャンプ事業費	国際社会に対応できる英語力や国際理解能力を備えた人材の育成を図るため、グローバル人材育成キャンプを実施する。	H30 ・グローバル人材育成キャンプの実施(高校生97名参加)		2,936	2,556	教育庁	高校教育課	
R1 ・グローバル人材育成キャンプの実施					(2,936)	(2,556)				
30	英語指導力向上推進事業費	小学校英語担当教員や中学校・高等学校等に英語教員の英語力・指導力向上を目的とする研修を行う。	H30 ・外国語指導力向上研修講座(小・中・高 各3日間) ・TEFL理論と実践研修講座(小・中・高 各3日間) ・小学校教員英語力アップ夏季集中セミナー(8日間) ・外国語指導助手(ALT)等の指導力向上研修(札幌ほか2会場2日間) ・グローバル化に対応した英語指導力向上研修(3日間 33会場)		15,609	9,781	教育庁	教育環境支援課		
			R1 ・外国語教育充実研修(小・中 各3日間) ・外国語教育に求められる実践的指導力向上研修(小・中・高 各3日間) ・外国語指導助手(ALT)等の指導力向上研修(札幌ほか2会場2日間) ・グローバル化に対応した英語指導力向上研修(3日間 30会場)		(15,609)	(9,781)				
31	情報システム推進費	安全で快適な学校のIT活用環境を整備し、児童・生徒の情報活用能力の育成を図るため、全ての道立学校と道立教育研究所等との間を光ファイバーで結ぶ教育用イントラネットを運営する。	本掲参照(278)		再掲	302,904 (302,904)	302,983 (302,983)	教育庁 総合政策部	教育環境支援課 情報政策課	予算は情報政策課要求
32	北海道ふるさと教育推進事業	総合的な学習の時間における、「アイヌの人たちの歴史・文化」と「北方領土」の学習を取り上げたり、北海道の自然や文化、観光産業等の教育資源を活用したりすることにより、北海道についての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育むふるさと教育・観光教育の充実を図る。	H30 ・北方領土対策本部との連携による外部講師の招聘やアイヌ教育相談員を活用した授業の実施 ・本道の自然や文化、観光産業などの教育資源を活用した実践や体験施設先を活用した教育活動の実施 ・「北海道ふるさと教育指導プログラム」や、指導資料「アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習の一層の充実に向けて」等を活用した事業成果の周知及び普及 ・「北海道みんなの日」を中心に、北海道版道徳教材「きた ものがたり」等を活用した、地域の歴史や文化等を学ぶ授業の実施		2,449	2,023	教育庁	義務教育課 (指導)		
			R1 ・北方領土対策本部との連携による外部講師の招聘やアイヌ教育相談員を活用した授業の実施 ・本道の自然や文化、観光産業などの教育資源を活用した実践や体験施設先を活用した教育活動の実施 ・「北海道ふるさと教育指導プログラム」や、指導資料「アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習の一層の充実に向けて」等を活用した事業成果の周知及び普及 ・「北海道みんなの日」を中心に、北海道版道徳教材「きた ものがたり」等を活用した、地域の歴史や文化等を学ぶ授業の実施		(2,449)	(2,023)				

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針: I 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標: 2 心身の健やかな成長と生きる力をはぐむ教育の推進										
主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑤ 社会で 生きる 実践的 な力の 育成	33	ほっかいどう学力向上推進事業	本道の児童生徒の学力向上のため、一層の学力向上が望まれる地域への集中的支援などを行う。	H30 ・組織力強化会議の開催 (組織的な検証改善サイクルの確立に向け、全国学力・学習状況調査の分析・活用方法等に関する会議の開催を、全道14管内で実施) ・ほっかいどうチャレンジテストの実施 (国語、算数・数学、理科、社会の基礎・基本の定着のため、道独自の問題を年6回作成し、全ての学校に配信) ・授業改善等支援事業 (全道19地域、41小・中学校を指定し、各管内の学力向上の課題等を解決するため、地域や学校の実情に応じた集中的・継続的な支援を行う) ・ミドルリーダー指導力向上研修会 (児童生徒に確かな学力を身に付けさせる授業改善の視点等についての研修会の開催を、全道14管内を4ブロックに分けて実施) ・小中一貫教育支援事業 (全道15地域38校を指定し、小・中学校9年間を通じた教育課程の編成・実施等、地域の実情に応じた小中一貫教育の導入及び円滑な実施への取組の支援を行う) ・子どもの学力・生活習慣改善研修会 (全道14管内で研修会を開催し、子どもたちが社会で自立して生きていくために必要な学力・体力や望ましい生活習慣の確立の重要性について、保護者、地域住民、学校及び教育委員会等が共通理解を深める)		29,501	(30,934)	教育庁	義務教育課 (学力)	
				R1 ・組織力強化会議の開催 (組織的な検証改善サイクルの確立に向け、全国学力・学習状況調査の分析・活用方法等に関する会議の開催を、全道14管内で実施) ・ほっかいどうチャレンジテストの実施 (国語、算数・数学、理科、社会、英語の基礎・基本の定着のため、道独自の問題を年6回作成し、全ての学校に配信) ・授業改善等支援事業 (全道19地域、41小・中学校を指定し、各管内の学力向上の課題等を解決するため、地域や学校の実情に応じた集中的・継続的な支援を行う) ・ミドルリーダー指導力向上研修会 (児童生徒に確かな学力を身に付けさせる授業改善の視点等についての研修会の開催を、全道14管内を4ブロックに分けて実施) ・小中一貫教育支援事業 (全道13地域30校を指定し、小・中学校9年間を通じた教育課程の編成・実施等、地域の実情に応じた小中一貫教育の導入及び円滑な実施への取組の支援を行う) ・子どもの学力・生活習慣改善研修会 (全道14管内で研修会を開催し、子どもたちが社会で自立して生きていくために必要な学力・体力や望ましい生活習慣の確立の重要性について、保護者、地域住民、学校及び教育委員会等が共通理解を深める)		(29,501)	(30,934)			
	34	ほっかいどう学力向上推進事業(英語力の向上支援)	新学習指導要領の実施を踏まえ、中学校教師の英語力及び指導力の向上や、生徒の英語力の向上に向けた環境整備を支援する。	H30 【授業改善推進プロジェクト】(推進校:14校) ・授業改善推進プロジェクト研究協議会(7月・12月実施予定) ・推進校による授業公開 R1 【ハンドブック作成プロジェクト】 ・ハンドブック作成委員会(7月・12月実施予定) ・パフォーマンステストハンドブックの作成・Web掲載(3月掲載予定)			4,694	教育庁	義務教育課	R1新規
						(4,694)				

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：I 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標：2 心身の健やかな成長と生きる力をはぐくむ教育の推進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑥ 豊かな心と健やかな体の育成	35	青少年健全育成促進費 (青少年育成推進事業費補助金)	(公財)北海道青少年育成協会が行う青少年健全育成の道民運動を促進するための経費に対し助成する。	本掲参照(53)	再掲	35,428 (35,428)	35,073 (35,073)	環境生活部	道民生活課	
	36	スポーツ振興事業費 (スポーツ王国北海道事業費)	本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎え、五輪種目や冬季種目を中心とした体験型教室を開催する。	H30 スポーツ体験教室等の開催 13回 R1 スポーツ体験教室等の開催 3回		2,334 (470)	2,369 (475)	環境生活部	スポーツ振興課	
	37	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、本道の道徳教育に関する課題に対する取組を行い、本道の道徳教育の推進を図る。	H30 ・道徳教育の全体計画の作成の在り方等、学校全体で取り組む道徳教育の推進について理解を図るための、道徳教育推進教師等を対象とした研修会の開催(14管内) ・「特別の教科 道徳」の実施に向け、「考え、議論する道徳」への転換に向けた授業改善や教科書の使用を位置付けた指導計画の改善について指導助言(推進校：小・中28校) ・家庭や地域と連携した道徳教育に関する先進事例の収集と提供(家庭における望ましい学習時間や睡眠時間などの目安を示した普及啓発資料の作成・配付) ・多様な専門分野の著名人を非常勤講師とした道徳の授業の実施(講師22名、14管内、延べ50校) ・ふるさとへの関心や愛着、誇りを育むための北海道独自の道徳教材の作成及び活用(「北海道版道徳教材『きたものがたり』実践事例集』の作成、Webページ掲載) R1 ・多様な専門分野の著名人を外部講師とした道徳の授業の実施 ・学校や家庭、地域における児童生徒の道徳性の育成に関する情報交換など、保護者や地域住民が参加する協議会の実施 ・道徳教育推進校や各管内の道徳教育推進教師を対象とした研修会の開催 ・本道の児童生徒の自尊感情や規範意識を醸成する道徳教育に係る指導資料の作成 ・道徳教育の全体計画の見直しや全体計画の別葉の活用、道徳科の年間指導計画の見直しによる計画的、発展的な指導の充実について指導助言		72,771 (0)	60,003 (0)	教育庁	義務教育課 (指導)	
	38	どさんこ食育推進総合事業	児童生徒に望ましい食習慣や自己管理能力を身につけさせるための指導を行う栄養教諭を配置し、食に関する指導を行う。また、学校における食育を推進するため、栄養教諭が中心になって、学校、家庭、地域の団体と連携・協力しながら実践的な取組を推進する。	本掲参照(18)	再掲	12,281 (0)	12,537 (0)	教育庁	健康・体育課	
	39	学校安全対策費	高校生の自主的な学校安全活動を促進し、交通事故の防止、防犯・防災に対する意識の高揚を図る。	H30 ・高校生学校安全推進事業 道立学校で実施 199校 R1 ・高校生学校安全推進事業 道立学校で実施 195校		2,868 (1,567)	2,829 (1,542)	教育庁	生徒指導・学校安全課	
	40	防災教育推進事業費	学校の安全管理の充実・徹底を図るため、防災教育や安全教育の指導方法の開発・普及及び専門家による指導・助言等を実施し、「北海道実践的安全教育モデル」を構築して、学校における安全教育・安全管理の一層の充実を図る。	H30 ・北海道実践的安全教育モデル構築事業 防犯教育、交通安全教育、防災教育の実践的安全教育モデルの構築・普及 R1 ・北海道実践的安全教育モデル構築事業 防犯教育、交通安全教育、防災教育の実践的安全教育モデルの構築・普及		12,203 (0)	12,203 (0)	教育庁	生徒指導・学校安全課	
	41	地域人材との連携による子どもの読書活動推進事業費	地域人材と連携して読書活動における取組を充実させるとともに、学校図書館の環境を整備し、子どもの読書活動の推進を図る。	H30 石狩、渡島、留萌、オホーツク、釧路の5管内でフォーラムを実施 R1 後志、胆振、檜山、上川、根室の5管内でフォーラムを実施予定		1,908 (1,908)	1,655 (1,655)	教育庁	生涯学習課	

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針: I 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標: 2 心身の健やかな成長と生きる力をはぐむ教育の推進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑥ 豊かな心と健やかな体の育成	42	性教育研究協議会兼薬物乱用防止教育研究協議会費	教職員に対し、性や薬物に関する正しい知識を身に付けさせ、指導力の向上を図るとともに、保護者や関係機関などの参加者を交えて、性教育・薬物乱用防止教育の地域ぐるみの取組を推進する。	H30 ・性教育や薬物乱用防止教育に関する保護者、関係機関等を交えた協議と、教職員の専門的指導力の向上を図る実践的研修 開催期日:平成30年10月29日 開催場所:札幌市 参加:90人(小、中、高等学校の教職員(69人)、PTA(1人)、保健福祉事務所職員(5人)、その他(15人)) R1 ・性教育や薬物乱用防止教育に関する保護者、関係機関等を交えた協議と、教職員の専門的指導力の向上を図る実践的研修 開催期日:令和元年(2019年)12月予定 開催場所:札幌市 参加対象:小、中、高等学校の教職員、PTA、保健福祉事務所職員等		995	995	教育庁	健康・体育課	
	43	子ども読書応援団推進事業	地域における読書ボランティア(応援団)の活動の機会を広げるとともに取組状況を紹介し、全道一円で子どもの読書活動を推進する。	H30 ・北海道子ども読書応援団推進事業 ・読書応援団への登録と登録した応援団への情報提供 ・応援団と支援希望市町村等とのコーディネート R1 ・北海道子ども読書応援団推進事業 ・読書応援団への登録と登録した応援団への情報提供 ・応援団と支援希望市町村等とのコーディネート		0	0	教育庁	生涯学習課	
	44	青少年芸術劇場費	本物の芸術にふれる喜びや感動を与え、豊かな創造性や情操の涵養を図るため、青少年に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。	H30 ○文化芸術による子供の育成事業 ・派遣事業 75校、・巡回公演事業 32公演 ・児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業 ○北海道巡回小劇場 ・音楽 9公演 ・児童劇 3公演 ・ミュージカル 5公演 ・人形劇 0公演 ・伝統・古典芸能 5公演 R1 ○文化芸術による子供の育成事業 ・派遣事業 94校、・巡回公演事業 24公演 ・児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業 ○北海道巡回小劇場 ・音楽 4公演 ・児童劇 2公演 ・ミュージカル 5公演 ・人形劇 2公演 ・伝統・古典芸能 6公演		3,213	2,778	教育庁	生涯学習課	

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：I 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標：2 心身の健やかな成長と生きる力をはぐくむ教育の推進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑦ 信頼される学校づくりの推進	45	学校図書館活用促進事業	学校全体での計画的な学校図書館の活用を図るため、学校図書館を活用した効果的な授業づくりのための研修会を実施する。	H30 後志、胆振、檜山、上川、根室の5管内で研修会を実施 R1 空知、日高、宗谷、十勝の4管内で研修会を実施予定		1,007 (1,007)	895 (895)	教育庁	生涯学習課	
	46	学校・地域連携推進事業費	学校を地域社会において、より一層開かれたものとするため、学校評議員等を置き、各学校が創意工夫し、地域に根差したよりよい学校づくりを図る。	H30 ○学校評議員等を全道立学校に設置し、会議等を開催 ・学校や地域の実情に応じ、保護者、自治会等関係者、同窓会関係者及び社会教育関係者等により構成 ○道立高校における学校評議会等(学校運営協議会)の設置 ・学校評議会を新規5校に設置 R1 ○学校評議員等を全道立学校に設置し、会議等を開催 ・学校や地域の実情に応じ、保護者、自治会等関係者、同窓会関係者及び社会教育関係者等により構成 ○道立高校における学校評議会等(学校運営協議会)の設置		2,042 (2,042)	2,051 (2,051)	教育庁	高校教育課	
	47	教職員計画研修	教職員に対する各種研修を行い、資質の向上を図る。(初任段階教員研修、中堅教諭等資質向上研修、新任管理職研修、教育課程改善協議会等)	H30 ・道教委が計画する研修の実施。 基本研修(キャリアステージに応じた研修) 教育課題研修(今日的な教育課題に関する研修) 専門研修(教科指導や生徒指導などの専門性を高める研修)等 R1 ・道教委が計画する研修の実施。 基本研修(キャリアステージに応じた研修) 教育課題研修(今日的な教育課題に関する研修) 専門研修(教科指導や生徒指導などの専門性を高める研修)等		348,029 (348,029)	303,843 (303,843)	教育庁	教育環境支援課ほか	

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：I 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標：2 心身の健やかな成長と生きる力をはぐくむ教育の推進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑧ いじめ対策等の推進	48	いじめ等対策総合推進事業費	いじめや不登校等の問題を抱えた児童生徒の早期発見や、早期の課題解決を図る。	H30 ・いじめ等対策本部費 いじめ問題対策連絡会議の開催 ・教育カウンセリング推進事業費 教育相談員セミナーの実施 実施箇所未定 スクールカウンセラー活用事業の実施(通年型配置) 732校、教育カウンセリングICT活用事業の実施 ・スクールソーシャルワーカー活用事業 委託実施 市町村数33、道教委任用者の道立学校等への派遣 ・児童生徒ネットコミュニケーション見守り活動事業 ネットパトロールの実施(年4巡回)、不適切な書き込み等の監視、危険なサイトの定点監視、指導者養成研修の実施、教師向け事例集・保護者向けリーフレットの掲載、配布 ・SNSを活用した相談体制の構築に向けた調査研究事業 SNS相談の実施(道立高校生を対象)、相談体制の効果的なあり方を検証		214,604	210,805	教育庁	生徒指導・学校安全課	
				R1 ・いじめ等対策本部費 いじめ問題対策連絡会議の開催 ・教育カウンセリング推進事業費 教育相談員セミナーの実施 実施箇所未定 スクールカウンセラー活用事業の実施(通年型配置) 1,213校、教育カウンセリングICT活用事業の実施 ・スクールソーシャルワーカー活用事業 委託実施 市町村数33、道教委任用者の道立学校等への派遣 ・児童生徒ネットコミュニケーション見守り活動事業 ネットパトロールの実施(年4巡回)、不適切な書き込み等の監視、危険なサイトの定点監視、指導者養成研修の実施、教師向け事例集・保護者向けリーフレットの掲載、配布 ・SNSを活用した相談体制の構築事業 SNS相談の実施(道立高校生を対象)、相談体制の効果的なあり方を検証		(142,560)	(142,525)			
	49	問題を抱える子ども等の自立支援事業	いじめ、不登校、暴力行為、高校中退などの課題に対する未然防止、早期発見・早期対応につながる効果的な取組について調査研究を行う。	H30 ・高校生ステップアップ・プログラム 不登校や中途退学の予防・未然防止のため、高校生の人間関係を形成する力やコミュニケーション能力の育成を図る取組。(道立高校、22校)		9,931	8,947	教育庁	生徒指導・学校安全課	
				R1 ・高校生ステップアップ・プログラム 不登校や中途退学の予防・未然防止のため、高校生の人間関係を形成する力やコミュニケーション能力の育成を図る取組。(道立高校、19校)		(0)	(0)			
50	子どもの人間関係づくり推進費	児童生徒の好ましい人間関係等をはぐくみ、いじめ・不登校等の未然防止を図る。	H30 ・中1ギャップ問題未然防止事業(15中学校区) ・児童生徒仲良しコミュニケーション活動奨励事業 どさんこ☆子ども全道サミット(全道1回) どさんこ☆子ども地区会議(14管内)		4,014	4,014	教育庁	生徒指導・学校安全課		
			R1 ・中1ギャップ問題未然防止事業(15中学校区) ・児童生徒仲良しコミュニケーション活動奨励事業 どさんこ☆子ども全道サミット(全道1回) どさんこ☆子ども地区会議(14管内)		(0)	(0)				
51	子ども相談支援センター事業費	いじめや不登校、体罰など、学校等で生じる問題について、子どもや保護者から直接相談を受けて問題解決につながる支援を行う子ども相談支援センターを設置する。	H30 ・子ども相談支援センターの設置 24時間体制の電話相談の実施 相談窓口紹介カード、リーフレットの作成・配布 関係機関との連携や専門家の派遣等による問題解決支援		21,213	21,529	教育庁	生徒指導・学校安全課		
			R1 ・子ども相談支援センターの設置 24時間体制の電話相談の実施 相談窓口紹介カード、リーフレットの作成・配布 関係機関との連携や専門家の派遣等による問題解決支援		(16,421)	(16,663)				

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針: I 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標: 3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑨ 地域ぐるみの青少年育成活動の促進	52	地域安全推進事業費(犯罪のない安全で安心な地域づくり推進事業費)	北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり条例に基づき、犯罪のない安全で安心な地域づくりを推進するため、体制の整備や関係機関をはじめ広く道民に広報・啓発活動を行い、誰もが安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、道民意識の高揚を図る。	H30 ・防犯に関するリーフレット等の作成・配布(リーフレット:24,000部) ・全道推進会議(1回)及びネットワーク交流会(3地区)の開催 ・防犯活動推進地区(3地区)指定 ・表彰(4団体)の実施 R1 ・防犯に関するリーフレット等の作成・配布 ・全道推進会議及びネットワーク交流会の開催 ・防犯活動推進地区指定 ・表彰の実施		1,388	1,317	環境生活部	道民生活課	
						(1,388)	(1,317)			
	53	青少年健全育成促進費(青少年育成推進事業費補助金)	(公財)北海道青少年育成協会が行う青少年健全育成の道民運動を促進するための経費に対し助成する。	H30 ◎本道における青少年育成運動の中核である(公財)北海道青少年育成協会(以下「育成協」という。)の事業実施に必要な経費に対して支援 ○青少年育成住民運動促進事業 ・青少年育成運動を地域ぐるみ運動として普及するための中核的推進者として北海道青少年育成運動推進指導員を設置(人数:238人) ・道と育成協の共催により、青少年育成地域合同会議を14総合振興局(振興局)で開催し道から直接管内各市町村へ道の施策等を説明 ○環境づくり実践活動推進事業 ・青少年育成運動の一層の広がりを目指し、関係者が一同に会す場として北海道青少年育成大会を開催 ・青少年の育成に携わっている関係者を対象に、運動の現状や課題等について議論する青少年育成運動活性化研究協議会を開催 ・明るい家庭づくり道民運動の一環としている「道民家庭の日」のイメージキャラクターを活用し民間企業等が主催する各種イベントに参加し普及啓発をはかり、絵画コンクールの実施と入賞作品展の開催(道庁「道民ホール」、札幌駅前通地下広場、入賞者所在振興局) ○青少年社会参加促進事業 ・地域の活性化、地域の元気を生み出す契機となるような青少年の活動である「青年活動元気づくりプロジェクト」に対し、事業を採択し助成 ・地域の青年活動におけるリーダーを養成し、地域活動の活性化を図るため、関係団体と連携して「青年活動元気づくり実践セミナー」を実施 R1 ◎本道における青少年育成運動の中核である(公財)北海道青少年育成協会(以下「育成協」という。)の事業実施に必要な経費に対して支援 ○青少年育成住民運動促進事業 ・青少年育成運動を地域ぐるみ運動として普及するための中核的推進者として北海道青少年育成運動推進指導員を設置(人数:238人) ・道と育成協の共催により、青少年育成地域合同会議を14総合振興局(振興局)で開催し道から直接管内各市町村へ道の施策等を説明 ○環境づくり実践活動推進事業 ・青少年育成運動の一層の広がりを目指し、関係者が一同に会す場として北海道青少年育成大会を開催 ・青少年の育成に携わっている関係者を対象に、運動の現状や課題等について議論する青少年育成運動活性化研究協議会を開催 ・明るい家庭づくり道民運動の一環としている「道民家庭の日」のイメージキャラクターを活用し民間企業等が主催する各種イベントに参加し普及啓発をはかり、絵画コンクールの実施と入賞作品展の開催(道庁「道民ホール」、札幌駅前通地下広場、入賞者所在振興局) ○青少年社会参加促進事業 ・地域の活性化、地域の元気を生み出す契機となるような青少年の活動である「青年活動元気づくりプロジェクト」に対し、事業を採択し助成 ・地域の青年活動におけるリーダーを養成し、地域活動の活性化を図るため、関係団体と連携して「青年活動元気づくり実践セミナー」を実施		35,428	35,073	環境生活部	道民生活課	
						(35,428)	(35,073)			

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：Ⅰ 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標：3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
地域ぐるみの青少年育成活動の促進	54	青少年健全育成促進費 (非行防止特別対策事業)	北海道青少年健全育成条例の遵守徹底と青少年に有害な環境の浄化を図るため、行政と地域住民との協働による有害環境浄化活動を推進する。	H30 ・青少年非行防止、被害防止及び健全育成に関する啓発リーフレットの作成、配付 ・少年の主張大会の開催(14振興局管内大会及び全道大会) ・条例遵守の徹底のため、カラオケボックス等各種店舗への立入調査を実施 (長期休業期間中や7月、11月の非行防止月間等に重点的に実施) ・有害興行、有害図書 の指定 R1 ・青少年非行防止、被害防止及び健全育成に関する啓発リーフレットの作成、配付 ・少年の主張大会の開催(14振興局管内大会及び全道大会) ・条例遵守の徹底のため、カラオケボックス等各種店舗への立入調査を実施 (長期休業期間中や7月、11月の非行防止月間等に重点的に実施) ・有害興行、有害図書 の指定		2,464	2,391	環境生活部	道民生活課	
	55	青少年健全育成促進費 (すこやか若人育成推進事業費)	青少年の意見や意識を的確に把握し、道の青少年健全育成施策の推進に生かすとともに、青少年に対し、青少年自身の努力や社会とのかかわりを自覚しながら、次代の担い手として自立するよう促す。	本掲参照(151)	再掲	1,062 (1,062)	1,047 (1,047)	環境生活部	道民生活課	
	56	青少年指導員設置費	各地域において、青少年の健全育成に向けた道民運動を推進するため、指導員を配置し、市町村や関係団体との連絡調整や普及啓発活動を行う。	H30 全道14総合振興局及び振興局に配置(委嘱期間H30.4.1～H31.3.31) (1)市町村における青少年対策の総合的推進 (2)市町村青少年問題協議会の育成及び活動の総合的推進に関すること (3)青少年育成道民運動の促進に関すること R1 全道14総合振興局及び振興局に配置(委嘱期間H31.4.1～R2.3.31) (1)市町村における青少年対策の総合的推進 (2)市町村青少年問題協議会の育成及び活動の総合的推進に関すること (3)青少年育成道民運動の促進に関すること		12,921	12,921	環境生活部	道民生活課	
	57	総務管理諸費(各種表彰経費)	自立心豊かで行動力に富み他の模範となる青少年を顕彰する(北海道青少年顕彰)。また、長年、青少年の健全育成等を実践し、顕著な功績のある方を表彰する(北海道社会貢献賞)。	H30 ・「北海道社会貢献賞(青少年健全育成成功労者)」 長年にわたり、青少年の健全育成指導、非行青少年の善導・更生等、青少年のための環境作りの推進を実践し、顕著な功績を残した青少年健全育成成功労者を表彰する。(13名) R1 ・「北海道社会貢献賞(青少年健全育成成功労者)」 長年にわたり、青少年の健全育成指導、非行青少年の善導・更生等、青少年のための環境作りの推進を実践し、顕著な功績を残した青少年健全育成成功労者を表彰する。(14名)		53 (53)	53 (53)	環境生活部	総務課	
	58	少子化対策推進事業費 (北海道子ども未来づくり推進費)	総合的かつ計画的に少子化対策を推進するため、第三期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」の円滑な推進を図るための体制整備と、将来家庭や子どもを持つことが身近なこととなる大学生に対し、少子化問題への意識の醸成を図るための講義を実施する。	本掲参照(3)	再掲	788 (788)	786 (786)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	59	「北海道教育の日」の普及啓発	全ての道民が教育に関する理解と関心を深め、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を担い、道民全体で子どもたちを育ていく契機とする「北海道教育の日」(毎年11月1日)の普及啓発を図る。	H30 ○家庭や企業等への普及啓発 ・道、道教委ホームページ、メールマガジンによる広報活動 ○道教委や民間協賛事業等における取組(10-11月) ・美術館、青少年教育施設等における体験活動や教育講演会の実施 ・全道の市町村や学校に働きかけ、各種協賛事業の実施 R1 ○家庭や企業等への普及啓発 ・道、道教委ホームページ、メールマガジンによる広報活動 ○道教委や民間協賛事業等における取組(10-11月) ・美術館、青少年教育施設等における体験活動や教育講演会の実施 ・全道の市町村や学校に働きかけ、各種協賛事業の実施		0 (0)	0 (0)	教育庁	教育政策課	
	60	学校安全対策費	高校生の自主的な学校安全活動を促進し、交通事故の防止、防犯・防災に対する意識の高揚を図る。また、通学路における交通安全確保などの取組を推進する。	本掲参照(39)	再掲	2,868 (1,567)	2,829 (1,542)	教育庁	生徒指導・学校安全課	

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：Ⅰ 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標：3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額	R1予算額	所管部局	課	備考	
						(一般財源)	(一般財源)				
⑨ 地域ぐるみの青少年育成活動の促進	61	青少年団体活動促進費補助金	青少年の育成活動を推進するため、子ども会連合会等が行う事業に対し助成する。	本掲参照(143)	再掲	526 (526)	526 (526)	教育庁	生涯学習課		
	62	安全・安心まちづくり事業費	犯罪のない誰もが安心して暮らせる地域社会を実現するため、住民の自主的防犯活動の活性化を図る。	本掲参照(301)	再掲	1,433 (1,433)	1,433 (1,433)	警察本部	生活安全企画課		
	63	少年非行防止対策費	非行少年のたまり場の発見・解消活動などの各種非行防止活動を推進するため、各種会議、啓発活動を行う。	本掲参照(247)	再掲	1,092 (546)	756 (379)	警察本部	少年課		
	64	少年補導員等活動促進費	少年補導員による街頭での補導、少年相談、非行集団の解体及び有害環境の浄化活動を行う。	H30・北海道警察と連携し、少年の居場所づくり活動をはじめとした、各種非行防止活動への参加、協力を行った。 ○平成30年中の居場所づくり活動参加人員(少年補導員)～ 420人 R1・北海道警察と連携し、少年の居場所づくり活動をはじめとした、各種非行防止活動を推進予定。			17,990 (8,996)	17,990 (8,996)	警察本部	少年課	
	65	少年の居場所づくり(JUMPプラン)	少年の非行防止と立ち直り支援のため、関係機関との連携により、ボランティア体験、料理教室など少年の多種多様な活動が可能な「居場所」を提供する活動を行う。	本掲参照(265)	再掲	0 (0)	0 (0)	警察本部	少年課		
66	あいさつからはじまる安全・安心「安全・安心どさんこ運動」	人や地域等の絆を強め、コミュニティの力を高め、誰もが安全で安心して暮らせる地域社会を築くための道民運動を推進するため、北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり条例に基づき設置している、道、道警察、道教委、関係機関などで構成する「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議」が主体となって、「あいさつ・みまもり・たすけあい運動」等を重点的に展開する。	H30・安全・安心のポータルサイトを通じ、「安全・安心どさんこ運動」への参加呼びかけや参加団体等を紹介・運動参加団体、企業等にポスター、ピンバッチ、ステッカーを配付 R1・安全・安心のポータルサイトを通じ、「安全・安心どさんこ運動」への参加呼びかけや参加団体等を紹介・運動参加団体、企業等にポスター、ピンバッチ、ステッカーを配付			0 (0)	0 (0)	環境生活部 警察本部 教育庁 学校教育局	道民生活課 生活安全企画課 生徒指導・学校安全課		

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：I 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標：3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進										
主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑩ 自然体験等 多様な体験 機会の提供	67	農業・農村コンセンサス形成総合推進事業	都市と農村の交流に意欲を持っている農業者の農場を「ふれあいファーム」として登録するとともに、農業者等が行う道民の理解を深める取組を支援する。	H30 ○草の根交流促進事業 ・「ふれあいファーム」の登録 ・農業・農村情報誌「コンファ」の発行 年2回発行 各20,000部 ・ふれあいファームの取組への支援 ○農業・農村パートナーシップ促進事業 ・農業者と農業関係以外の団体への等が連携した取組への支援 ○コンセンサスづくり活動推進事業 ・農業・農村ふれあいネットワークの取組への支援 R1 ○草の根交流促進事業 ・「ふれあいファーム」の登録 ・農業・農村情報誌「コンファ」の発行 年2回発行 各20,000部 ・ふれあいファームの取組への支援 ○農業・農村パートナーシップ促進事業 ・農業者と農業関係以外の団体等が連携した取組への支援 ○コンセンサスづくり活動推進事業 ・農業・農村ふれあいネットワークの取組への支援		12,689	12,689	農政部	農政課	
						(5,188)	(5,188)			
	68	生きている川づくり推進事業費	「北海道川づくりビジョン」に基づき、親しみやすい川として、子どもたちが河川での体験学習や遊び場として利用できるようアクセス施設や標識などを整備する。	H30 ・石狩川水系旧琴似川(札幌市):伐採、親水護岸設計 ・美々川水系美々川(安平町):モニタリング、湿地環境調査、自然再生検討 R1 ・石狩川水系旧琴似川(札幌市):親水護岸一式 ・美々川水系美々川(安平町):モニタリング、湿地環境調査、自然再生検討		117,000	117,000	建設部	維持管理 防災課	
						(0)	(6,000)			
	69	青少年の体験活動推進事業費	青少年の社会参画に向けた推進体制整備と地域づくりに貢献する青少年活動リーダーの養成を図る。	本掲参照(138)	再掲	ネイパル指定管理者に委託	ネイパル指定管理者に委託	教育庁	生涯学習課	H30からネイパル主催事業へ移行
70	木育推進事業費	多様な主体との連携等による木育の取組を実施する。	H30 ・木育マイスター育成研修の開催(23名) ・初任段階教員への木育研修(6地域) ・中高生等への林業・木材産業等の現場体験・実習(7箇所) R1 ・初任段階教員への木育研修 ・中高生等への林業・木材産業等の現場体験・実習		9,353	7,398	水産林務部	森林活用課		
					(9,353)	(7,398)				
71	地域と連携した森林づくり活動参加促進事業費	多様な団体による協働の森林づくり活動の中心となっている漁協女性部が、地域のイベント等と連携して実施する植樹活動に対して支援する。	H30 「森林づくり活動」に対する助成(10団体 植栽本数6,595本) R1 「森林づくり活動」に対する助成		3,747	3,747	水産林務部	森林活用課		
					(3,747)	(3,747)				

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：I 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標：3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)		再掲	H30予算額	R1予算額	所管部局	課	備考
				(一般財源)	(一般財源)						
① 地域の身近な場所での居場所づくり	72	地域子ども・子育て支援事業 (放課後児童健全育成事業)	放課後や週末等に児童が安心して生活できる居場所を確保することにより、児童の健全な育成を支援する。	H30・放課後児童対策事業(1,011箇所(計画数)) R1・放課後児童対策事業(1,016箇所(計画数))			2,595,575 (2,595,575)	2,801,789 (2,801,789)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	73	子どもの居場所づくり推進事業	様々な困難や課題を抱える子どもたちが、地域とのつながりを持ち、安心して暮らすことができるよう、学習支援や食事の提供などを行う地域の居場所づくりを進め、子どもの声を受けとめる仕組みづくりを行う。	H30・地域における子どもの居場所づくりを行う市町村に対する補助 8市町村 R1 事業廃止			8,552 (5,132)	0 (0)	保健福祉部	子ども子育て支援課	H30事業廃止
	74	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助金(放課後子供教室)	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれるよう、安全・安心して過ごせる場として、放課後や週末などに小学校の余裕教室などを活用し、地域の方々の参画を得て、共に勉強・スポーツ・文化活動、地域交流活動等を行う放課後児童対策を推進する。	H30・放課後子供教室の開催(69市町村154教室) ・安全管理員等研修会の開催(11会場(4ブロック各会場2回実施、道内3会場)) R1・放課後子供教室の開催(68市町村152教室) ・安全管理員等研修会の開催(10会場(4ブロック各会場2回実施、道内2会場))			73,784 (36,892)	64,876 (32,438)	教育庁	義務教育課	
	75	少年の居場所づくり (JUMPプラン)	少年の非行防止と立ち直り支援のため、関係機関との連携により、ボランティア体験、料理教室など少年の多種多様な活動が可能な「居場所」を提供する活動を行う。	本掲参照(265)	再掲		0 (0)	0 (0)	警察本部	少年課	
	76	学校図書館等活用促進事業	学校全体での計画的な学校図書館の活用を図るため、学校図書館を活用した効果的な授業づくりのための研修会を実施する。	本掲参照(45)	再掲		1,007 (1,007)	895 (895)	教育庁	生涯学習課	
	77	地域人材との連携による子どもの読書活動推進事業費	地域人材と連携して読書活動における取組を充実させるとともに、学校図書館の環境を整備し、子どもの読書活動の推進を図る。	本掲参照(41)	再掲		1,908 (1,908)	1,655 (1,655)	教育庁	生涯学習課	

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針: I 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標: 3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑫ 子育て支援の推進	78	少子化対策推進事業費 (北海道子ども未来づくり推進費)	総合的かつ計画的に少子化対策を推進するため、第三期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」の円滑な推進を図るための体制整備と、将来家庭や子どもを持つことが身近なこととなる大学生に対し、少子化問題への意識の醸成を図るための講義を実施する。	本掲参照(3)	再掲	788 (788)	786 (786)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	79	母子保健対策事業費(女性と子どもの健康支援対策事業費) 女性の健康サポートセンター事業費	学校や市町村など思春期の青少年との関わりを持つ地域関係者の連携を図り、相談体制の強化と思春期の子どもの自己決定能力の育成を図る健康教育を推進する。また、疾病により長期にわたり療養を必要とする児童に対して相談・指導を行う。	本掲参照(14)	再掲	2,476 (1,282)	1,917 (982)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	80	家庭児童相談室設置運営事業費	各総合振興局(振興局)に家庭相談員を配置し、家庭における児童の諸問題についての相談を受け付ける。	H30・家庭児童福祉に関する相談指導業務に従事する職員(家庭相談員)を配置 R1・家庭児童福祉に関する相談指導業務に従事する職員(家庭相談員)を配置		19,798 (19,798)	19,778 (19,778)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	81	児童相談所及び一時保護所費	道立児童相談所及び一時保護所の維持運営費	本掲参照(296)	再掲	410,261 (254,662)	444,022 (266,535)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	82	地域子ども・子育て支援事業 (病児保育事業) (延長保育事業)	病児保育や延長保育を実施することで、安心して子育てができる環境を整備する。	H30・病児保育事業 33市町村 ・延長保育事業(私立保育所のみ) 44市町村 R1・病児保育事業 37市町村 ・延長保育事業(私立保育所のみ) 46市町村		319,872 (319,872)	360,668 (360,668)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	83	家庭教育相談事業費	家庭教育に関する不安や悩みを抱く親などに対し、臨床心理士による専門性の高い面接相談を実施する。	本掲参照(17)	再掲	2,722 (2,722)	2,722 (2,722)	教育庁	生涯学習課	
	84	少子化対策推進事業費 (地域少子化対策強化事業費)	本道の厳しい少子化問題に対応するため、結婚に向けた情報提供や妊娠・出産に関する情報提供、結婚・妊娠・出産・子育てをしやすい地域づくりに向けた環境整備を行い、各ライフステージに応じた切れ目ない支援を行う。	H30 ○結婚に向けた情報提供 ・次世代教育コーディネート事業(大学:24か所程度) ・結婚サポートセンターの設置・運営(常設1か所) ○妊娠・出産に関する情報提供 ・父親の家事・育児参加の促進に係る講座(4か所程度) ・妊婦の不安や悩みに対応する情報提供 ○結婚、妊娠、出産、子育てをしやすい地域づくり ・企業等との協働による子育て世帯への支援 R1 ○結婚に向けた情報提供 ・次世代教育コーディネート事業(大学:24か所程度) ・結婚サポートセンターの設置・運営(常設1か所) ○妊娠・出産に関する情報提供 ・父親の家事・育児参加の促進に係る講座(4か所程度) ・妊婦の不安や悩みに対応する情報提供 ○結婚、妊娠、出産、子育てをしやすい地域づくり ・企業等との協働による子育て世帯への支援 ・子育て支援パスポート広報強化(サイト構築)		113,993 (11,997)	109,144 (11,228)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
	85	児童虐待防止対策等推進事業費	児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応、適切な保護・治療及び児童相談体制の強化を図る。	本掲参照(295)	再掲	113,706 (57,390)	114,625 (58,634)	保健福祉部	子ども子育て支援課	

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：Ⅰ 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標：3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑬ 地域における保健医療の充実	86	小児救急医療対策費	休日夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療を確保するため、第二次医療圏において輪番制により診療を行う病院の運営事業への助成と、地域の医師等に対する小児救急医療に関する研修事業等に係る実施経費。	H30・第二次医療圏(21圏域)における小児救急医療体制の確保 小児救急医療支援事業(病院群輪番制)-21圏域 ・小児救急医療地域研修事業8回 ・重症・重篤な小児救急患者の医療の確保 小児科医が24時間体制で対応可能な救命救急センター3か所		164,293	164,293	保健福祉部	地域医療課	
				R1・第二次医療圏(21圏域)における小児救急医療体制の確保 小児救急医療支援事業(病院群輪番制)-21圏域予定 ・小児救急医療地域研修事業8回予定 ・重症・重篤な小児救急患者の医療の確保 小児科医が24時間体制で対応可能な救命救急センター4か所予定		(0)	(0)			
	87	小児救急電話相談事業費	子どもを持つ親が専門の医師や看護師から子どもの症状に応じた適切なアドバイスを受ける「小児救急電話相談事業」に要する経費。	H30・相談日 毎日 ・相談時間 19:00～翌午前8時 ・相談センター 北海道医師会館内に設置 (午後11時～翌午前8時は民間事業コールセンター)		26,614	26,614	保健福祉部	地域医療課	
				R1・相談日 毎日 ・相談時間 19:00～翌午前8時 ・相談センター 北海道医師会館内に設置 (午後11時～翌午前8時は民間事業コールセンター)		(0)	(0)			
	88	乳幼児等医療給付事業費補助金	乳幼児等の医療費の自己負担分をその保護者に助成することにより、家庭負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見と治療を促進し、乳幼児等の健全な育成を図る。	H30 179市町村で実施 R1 179市町村で実施		3,236,444 (3,236,444)	3,297,165 (3,297,165)	保健福祉部	子ども子育て支援課	
89	母子保健対策事業費(女性と子どもの健康支援対策事業費)女性健康サポートセンター事業費	学校や市町村など思春期の青少年との関わりを持つ地域関係者の連携を図り、相談体制の強化と思春期の子どもの自己決定能力の育成を図る健康教育を推進する。また、疾病により長期にわたり療養を必要とする児童に対して相談・指導を行う。	本掲参照(14)	再掲	2,476 (1,282)	1,917 (982)	保健福祉部	子ども子育て支援課		
90	周産期医療システム整備事業費補助金	地域において妊娠、出産から新生児期に至る高度専門的な医療を効果的に提供する総合的な周産期医療体制を整備し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりの推進を図るための事業へ助成する。	H30・周産期母子医療センター運営費補助金 補助対象 24施設 ・周産期医療従事者研修事業 3会場実施 R1・周産期母子医療センター運営費補助金 補助対象 25施設予定 ・周産期医療従事者研修事業 5会場実施予定		501,484 (15,400)	548,347 (15,400)	保健福祉部	地域医療課		

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：Ⅰ 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標：3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑭ 地域の文化や習わしを体験する機会の提供	91	アイヌ民族文化財団事業費補助金	アイヌ文化の振興や理解の促進などに関する事業を行う(公財)アイヌ民族文化財団(旧:アイヌ文化振興・研究推進機構)の事業に要する経費に対し、助成する。	本掲参照(25)	再掲	323,669 (323,669)	303,109 (303,109)	環境生活部	アイヌ政策課	
	92	文化振興事業費 (オホーツク流水科学センター費)	流水及び海洋並びにオホーツク圏の生活文化を収集、展示、研究する道立オホーツク流水科学センターの管理運営に要する経費(指定管理施設)。	H30 ・科学教室、ワークショップ・野外活動教室・科学の祭典の開催(3回程度) ・キザ映画会の開催(4回程度) ・GWイベントの開催(5月) ・夏のキザ祭りの開催(8月) ・冬のキザ祭りの開催(1-3月) R1 ・科学教室、ワークショップ・野外活動教室・科学の祭典の開催(4回程度) ・キザ映画会の開催(4回程度) ・GWイベントの開催(5月) ・夏のキザ祭りの開催(8月) ・冬のキザ祭りの開催(1-3月)		78,767 (78,116)	79,763 (79,112)	環境生活部	文化振興課	
	93	文化振興事業費 (開拓の村費・百年記念塔費)	北海道の歴史を示す建造物などの補修に要する経費。	H30 ・歴史的建造物の補修等 R1 ・歴史的建造物の補修等		4,969 (4,969)	2,215 (2,215)	環境生活部	文化振興課	
	94	文化振興事業費 (北海道博物館管理運営費)	北海道博物館・北海道開拓の村・野幌森林公園自然ふれあい交流館の維持運営に要する経費。	H30 (博物館) ・調査研究事業 ・資料収集(受入)事業 ※資料は北海道博物館HPで一般公開 ・特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」(6~8月) ・普及事業 (開拓の村) ・体験型学習事業(随時開催)先達の生活文化の再現・伝承事業の実施 ・開拓期に道内各地で行われた年中行事の再現・実施 ・開拓期等の生活の一端を体験する事業の実施 ・児童写生会(7月) ・伝統文化の振興や伝承のための講習会等 (ふれあい交流館) ・自然観察会開催(4-3月) ・ボランティア・レンジャー育成研修会(9月) ・工作コーナー(4-3月) R1 (博物館) ・調査研究事業 ・資料収集(受入)事業 ※資料は北海道博物館HPで一般公開 ・特別展「アイヌ語地名と北海道」(7~9月) ・普及事業 (開拓の村) ・体験型学習事業(随時開催)先達の生活文化の再現・伝承事業の実施 ・開拓期に道内各地で行われた年中行事の再現・実施 ・開拓期等の生活の一端を体験する事業の実施 ・児童写生会(7月) ・伝統文化の振興や伝承のための講習会等 (ふれあい交流館) ・自然観察会開催(4-3月) ・ボランティア・レンジャー実践講習(適宜) ・工作コーナー(4-3月)		372,083 (359,035)	348,638 (343,253)	環境生活部	文化振興課	

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針：I 青少年の豊かな人間性をはぐむ環境づくり — 施策の目標：3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額 (一般財源)	R1予算額 (一般財源)	所管部局	課	備考
⑭ 地域の文化や習わしを体験する機会の提供	95	北海道文化財団補助金	北海道文化振興指針に基づき、文化振興施策を機動的かつ効果的に推進するため、北海道文化財団の事業に助成し、個性豊かな地域文化の創造と、全ての人が優れた文化を享受できる生活文化圏の構築を図る。	H30 ○地域文化創造事業 ・まちの文化創造事業(共催) 創造的な舞台発表等を地域文化団体等と共催 ・アドバイザー派遣事業(共催) 文化活動に関する専門的な知識等を有するアドバイザー等の派遣、舞台表現等に係るワークショップを開催 ○文化活動人材育成事業 ・アートゼミ事業 演劇や舞台等の公演等に関わる制作担当者などを対象とした少人数の実践的なワークショップを開催 ・アート体感教室事業 国内外で活躍するアーティストを派遣し、各地の子どもたちを対象としたワークショップや創作活動を実施 ・北のアーティスト育成事業 財団が公募を行い選定したアーティストを派遣し、コンサート等を開催 ○文化情報発信事業 ・文化関係資料の収集・公開 ・映像ライブラリー「北の情熱」の制作 ・情報誌「北のとびら」の発行：年3回 ・舞台芸術情報提供事業：2事業 ○芸術文化鑑賞事業 ・アートシアター鑑賞事業 財団が選定した公演等を市町村や地域文化団体等と共催 ○芸術文化交流事業 道内の団体の海外公演、海外の団体の道内公演等に対する助成等		100,683	99,002	環境生活部	文化振興課	
				R1 ○地域文化創造事業 ・まちの文化創造事業(共催) 創造的な舞台発表等を地域文化団体等と共催 ・アドバイザー派遣事業(共催) 文化活動に関する専門的な知識等を有するアドバイザー等の派遣、舞台表現等に係るワークショップを開催 ○文化活動人材育成事業 ・アートゼミ事業 演劇や舞台等の公演等に関わる制作担当者などを対象とした少人数の実践的なワークショップを開催 ・アート体感教室事業 国内外で活躍するアーティストを派遣し、各地の子どもたちを対象としたワークショップや創作活動を実施 ・北のアーティスト育成事業 財団が公募を行い選定したアーティストを派遣し、コンサート等を開催 ○文化情報発信事業 ・文化関係資料の収集・公開 ・映像ライブラリー「北の情熱」の制作 ・情報誌「北のとびら」の発行：年3回 ・舞台芸術情報提供事業：2事業 ○芸術文化鑑賞事業 ・アートシアター鑑賞事業 財団が選定した公演等を市町村や地域文化団体等と共催 ○芸術文化交流事業 道内の団体の海外公演、海外の団体の道内公演等に対する助成等		(35,683)	(34,002)			

令和元年度 北海道青少年健全育成基本計画推進状況

基本方針: I 青少年の豊かな人間性をはぐくむ環境づくり — 施策の目標: 3 地域ぐるみで青少年を育てる環境づくりの促進

主な取組	番号	事業名	事業の概要	30年度実績(H30)、元年度実施予定(R1)	再掲	H30予算額	R1予算額	所管部局	課	備考
						(一般財源)	(一般財源)			
大人の意識改革	96	青少年健全育成促進費 (青少年育成推進事業費補助金)	(公財)北海道青少年育成協会が行う青少年健全育成の道民運動を促進するための経費に対し助成する。	本掲参照(53)	再掲	36,428 (36,428)	35,073 (35,073)	環境生活部	道民生活課	
	97	青少年健全育成促進費 (非行防止特別対策事業)	北海道青少年健全育成条例の遵守徹底と青少年に有害な環境の浄化を図るため、行政と地域住民との協働による有害環境浄化活動を推進する。	本掲参照(54)	再掲	2,464 (2,464)	2,391 (2,391)	環境生活部	道民生活課	
	98	青少年健全育成促進費 (すこやか若人育成推進事業費)	青少年の意見や意識を的確に把握し、道の青少年健全育成施策の推進に生かすとともに、青少年に対し、青少年自身の努力や社会とのかかわりを自覚しながら、次代の担い手として自立するよう促す。	本掲参照(151)	再掲	1,062 (1,062)	1,047 (1,047)	環境生活部	道民生活課	